

一般社団法人 社会福祉経営全国会議

コロナ・実態・事例ニュース



2023年8月16日発行 (No.26) 連絡先/〒543-0045 大阪市天王寺区寺田町 2-5-6-902

電話 06-6772-1360 Fax06-6772-1376 Eメール/jimukyoku1@f-zenkoku.net

コロナ第9波！福祉の現場で何が起きているのか！緊急アンケート！

お寄せいただいた声をご紹介します！

VOL.2

現在、直面している状況・課題・問題点など・・・

●文科省には感染したらどう休むかの指標が保護者に示されているが、厚労省からは降りてきていないので、保護者への対応が難しい(5日間休むように促してはいる)(保育)

●行政への報告が、職員体制上困ったら連絡をと言うことなので、全行政として全体像がつかめない状況にあると思います。もともと、第9波のことは予測されていたので、数的報告だけでも報告させて状況把握くらいはした方が理知的だと思うのですが。法人としては、これまでと同等に理事長へ感染を集中してもらい、直接の利用者と職員の感染数のみは、引き続き集計しています。当法人では、職員総数500名の規模・23事業単位でカウントしていますが、7月は9事業単位で、職員18名、利用者3名でしたが、8月に入り、1事業所(児童発達センター)で、子ども14名職員3名感染で、この事業所は1日休園しました。(行政と確認の上)家族はカウントしていませんが、家族内感染として広がり大変そうです。症状は、喉の痛み・咳・発熱という感じで、重症化はありません。しかし、一挙に広がり心配しました。暑くても閉め切らないで、窓を開けながらの冷房を続けています。

色々な感染症と、猛暑による「うつ熱」状況の発熱もあります。人類は、これからも感染症とのたたかいは続くので、基礎免疫力を高めるという視点での研究と適切な情報がほしいと思います。マスク生活が長くて口呼吸となり、本来なら鼻で一定の感染防止の役割が果たせていたのですが、細菌やウイルスが直接咽頭に入り、感染しやすくなっているという情報も聞きました。

事業運営において、これからも利用者数の変動が経営の収入減に直結。コロナ禍の経営的問題は、このことなので、母体運営の安定化をさせることができるように、施策改善ができないでしょうか。コロナ禍から明らかになった問題を、コロナ終結で消してしまわないで、経営改善・施策改善の運動に昇華させ、強化できたらと願うものです。(複合)

●世間と施設とのギャップを感じる。世間は風邪と同様の扱いとして感染した人も検査をしないので引き続き活動をしている。施設は体調不良時には抗原検査をするので陽性であれば感染が広がらないように休んでもらうなどの対応が必要。集団感染により中には重症化する人がいるかもしれないリスクを懸念しながらの活動は厳しい。利用者の休みに対しての補助金の保障がない為、運営財政的に厳しくなってしまう。開所継続と感染対策の舵取りが難しい状況が続いています。(障害)

●5類以降は報酬算定ができなくなったことで、関係者間での感染広がりがあれば施設運営に影響が出る。まだまだ、周辺での感染者もいるため施設の行事とりくみへの影響は大きく、感染者がいる家庭への通所のアプローチも施設内での感染拡大の可能性もあるためできず、結果的に運営にしわ寄せがくる。職員がいてもなかまの休みが多い、また、職員の休まざるを得ないときの職員体制確保、なかまの半数近くがGH利用者でもあり、感染したとき、しなくてもGH待機になるときGHなどへの職員派遣の確保で困る。幸い、当施設では感染拡大はないため影響は少ないが、家族の感染によるお休みの部分は報酬が下がっている。(障害)

●コロナの検査をしなくなったので、風邪なのかコロナなのかわからなくなった。実際はコロナが流行っているのかもしれないが、風邪ということで対応しているケースが多いのではないかと。(保育)

国や自治体への要望・・・

- 教育課と福祉課が連携してほしい。(保育)
- 感染対策に講じる対応費、臨時休業や陽性者の療養期間の補助金を保障してほしい。(障害)
- 日割り制度の見直し。(障害)
- 世の中を動かすということで分類を切り替えたので、保育園はこれで良いと思うが医療介護の方だけに負担が重いことは考えなければならない。保育園は休園が無くなったので、救われた。休園の恐怖、休園によるクレームと戦う日々、行事の縮小、消毒業務に追われる、園児の遊びの制限、会議打ち上げなどの制限など二度と戻りたくない。今はのびのび職員も園児も暮らせている。(保育)
- 有給の保障。福祉現場への感染拡大防止策。(保育)
- 既往症のある利用者は特に2類時のように入院調整等を担ってほしい。(障害)

コロナ第9波！福祉の現場で何が起きているのか！緊急アンケート！

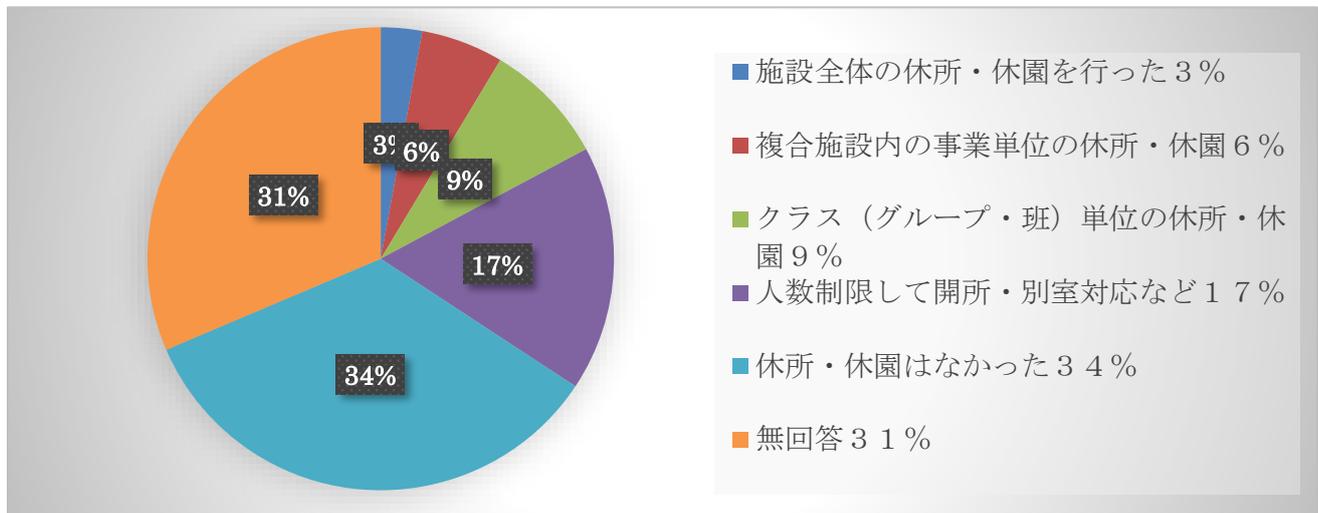
<https://forms.gle/obzEvNmHahwFP7br5>



世間と施設とのギャップを感じる・・・
経営も心配・・・



5月8日の5類移行後、コロナ感染による休所・休園について (8/15現在の35回答より)



現在、直面している状況・課題・問題点など・・・

- 職員が代わる代わる感染するので体制が厳しい時がある。(保育)
- 家族内に陽性がいる場合に、園児の3日間の待機をご協力を訴えて、園児の体調不良がなければ登園してもらっています。マスクをしない保育を保育士、子どもはしているので感染を最小限にしたいとも考えます。保護者さんのご理解とご協力に頼らざるを得ない状況です。(保育)
- 施設内での感染拡大は起こっていないが、利用者、職員が、それぞれ単独で感染経路のわからないまま発症している。5類になったことで2類時のように保健所が色々と協力してくれることが無くなり、特に利用者が発症した場合医療に繋げるのが難しくなったと感じる。幸い重症化した方もおらず、クラスターも発生していないがその幸運がいつまで続くのか不安。(障害)